

「むこうまち」 を 歩こう！

竹の径 コース



向日市文化資料館

〒617-0002
京都府向日市寺戸町南垣内40-1
TEL 075-931-1182

むこうしぶんかしりょうかん ①向日市文化資料館

古代の都・長岡京(784-794)の宮跡の一角に遷都1200年を記念して、昭和59年(1984)に建設・開館されました。常設展示「長岡京の歴史と文化」では発掘調査の成果をもとに都に暮らす人々の生活を紹介しています。特別展や企画展、各種講演会、子ども歴史教室なども行なっています。

〔開館時間〕 午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

〔休館日〕 月曜日
(休日の場合は開館し、直後の平日を休館)
資料整理日(毎月1日/ただし、土・日・月の場合は次の火曜日)

展示準備期間(不定期)
年末・年始(12月28日～1月4日)
特別警報、暴風警報発表等の場合
※詳しくはお問い合わせください。TEL 075-931-1182

いけ いつかはらこふん ②はりこ池・五塚原古墳(国史跡乙訓古墳群の一基)

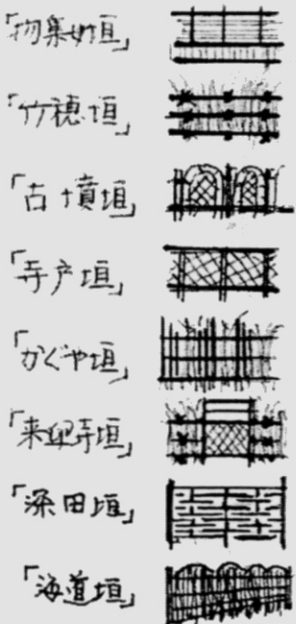
西ノ岡丘陵には、はりこ池をはじめ、数多くのため池があります。水田への貴重な給水源の役目を果たしてきました。はりこ池・大池の周辺は公園として整備され、四季折々の自然の美しさを楽しむことができます。五塚原古墳は「はりこ池」西側の山頂にあり古墳時代前期(3世紀後半)の全長91.2mの前方後円墳です。後円部は直径54m・高さ8.7m、前方部は長さ40.5m・高さ4mで典型的な古墳時代前期の形をしています。

かんむてんのうこうこうりょう だんたかばたけりょうこふん ③「桓武天皇皇后陵」(伝高島陵古墳)

寺戸町大牧にあり、長岡京を築いた桓武天皇の皇后の乙牟漏(おとむろ)のお墓として、宮内庁管理の陵墓になっています。直径約70m・高さ約7mの円形をしています。

たけ みち ④竹の径

竹の径は向日市特産の「孟宗竹」を使った竹垣の散策道です。第6向陽小学校から寺戸大塚古墳、竹林公園、そして回生病院まで竹垣が目を楽しませてくれています。平成14年から毎年秋には「竹の径・かぐやの夕べ」が開催され、4000本の水口ウソクが夕闇の竹林を照らし、幻想的な雰囲気をかもし出しています。



てらとおおつかこふん ⑤寺戸大塚古墳(国史跡乙訓古墳群の一基)

寺戸町芝山にあり古墳時代前期(4世紀前半)の全長98mの前方後円墳で、後円部は直径58m・高さ9.8mの大きさです。後円部の発掘調査により三角縁神獣鏡のほか多くの鏡や管玉や刀剣類も出土しています。

ちくりんこうえん ⑥竹林公園

洛西ニュータウンの建設により、大枝・大原野の多くの竹が伐採されました。そこで、残る竹林について積極的に保存しようということで、記念事業として昭和56年(1981)6月に竹林公園が開園しました。竹・笹を主体にした回遊式庭園として全国的にも珍しい公園で、奇竹・銘竹があります。休館日 水曜日

らいこうじ もすめ ⑦来迎寺(物集女)

物集女町中条にある西山浄土宗光明寺の末寺です。室町時代の文明年間(1469～87)に開創されたといわれています。境内にある薬師堂には、近くの物集女公民館の場所にあり明治6年(1873)に廃寺となった光勝寺の什宝が納められています。その時移した平安時代の木造阿弥陀如来坐像・木造薬師如来坐像、室町時代の石造種子両界曼荼羅板碑が市指定文化財になっています。毎年9月8日には「八日薬師さん」の行事がおこなわれています。

もすめじょうあと ⑧物集女城跡

物集女町中条にある中世の城跡で、この地を支配していた物集女氏の居館です。約70m四方の主郭があり、その周囲には家臣らが住む区画があったと考えられています。物集女氏は乙訓の土豪のリーダーとして活躍しましたが、最後の当主となった物集女忠重が天正3年(1575)に織田信長配下の細川藤孝に勝龍寺城で謀殺され、物集女城も廃墟となりました。城跡の東側から北側にかけて、現在も幅約10mの大きな濠と、高さ約2mの土塁がよく残されており、平地にある土豪の居館跡として貴重なものです。

じゅんなてんのうかそうづか まるつかやまこふん ⑨「淳和天皇火葬塚」(丸塚山古墳)

物集女町出口にあります。淳和天皇は平安時代初めの天皇で、長岡京を築いた桓武天皇の第7皇子です。兄の嵯峨天皇と共に物集女にはゆかりが深く、承和7年(840)に亡くなると、遺言によって物集女で火葬にされ大原野の小塩山の山頂から散骨されました。ここは天皇を火葬にした場所とされ、宮内庁の管理になっています。

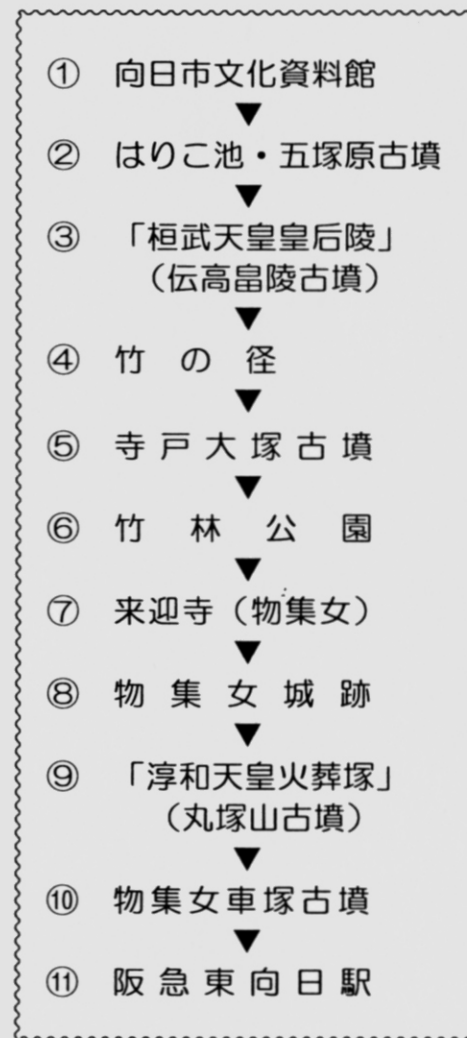
もすめくるまつかこふん ⑩物集女車塚古墳(国史跡乙訓古墳群の一基)

物集女町南条にあり全長約46mの規模を持つ古墳時代後期(6世紀中頃)の前方後円墳です。丘陵から伸びる尾根を利用してほぼ東西方向に築かれています。後円部は直径約24m・高さ約9m、前方部は幅約39m・高さ約8mの大きさです。出土品には、埴輪、須恵器、馬具、刀剣、装身具などがあります。毎年定期的に横穴式石室の内部が一般公開されています。

はんきゅううひがしむこうえき ⑪阪急東向日駅

京都での昭和天皇の即位式「御大典」開催に間に合うように新設された鉄道で、昭和3年(1928)11月に営業を開始しました。新京阪鉄道としてスタートしましたが、戦後阪急の路線となり、現在にいたっています。

*古墳の大きさは、測量調査が行われるたび、新しい数値が公表され、調査者の認識によっても変わります。



阪急東向日駅からJR向日町駅までは徒歩7分です。

竹の径

約6キロ



京都府景観資産に登録されている

「西ノ岡・竹の径
緑の散策路」を歩こう!!

と訓古墳群として国史跡と
なる古墳をめぐりコースです

山の稜線が美しく
眺望良好!!
朝日・夕日が望める
スポット

昭和30年代半ばまで
杉の木がいっぱいあったところ
水と土「榊亭」の舞台と
なったのはここです!!
現在は杉の園として
整備されています

愛宕灯籠
(市内に24基)
バス停

天保13年(1842)に
伊勢参りの講の人々
によって建てられた

応仁の乱で
都から逃げ出した
姫君が琴を橋に
という伝説がある

平成15年3月開業
戦時中から昭和2年
までの一時期には
ここに「物集女馬場」
がありました

今から1400年前
大塚からの渡来系氏族
である秦氏が造った
灌漑用水路と
いわれています

江戸時代
物集女の人々が
伏見に行きの
便のために造

石棺の形を
説明案内が
あります

ほねの
小字羽子田
堤の約に高い土地で
「ほね」という
扇状地の高位置の耕地

この地域で一番
大塚の妙見山古墳
があるところ

このあたりは小字北口
物集女の歴史と地名の由来や
愛宕火工の解説板が
ぜひ見たいところ

心はむっとな
用水池・物集女の
水田の半分を
灌漑した

